
科学研究費助成事業について Reorganization of KAKENHI: Current Activities of JSPS

世話人：秋山修志（自然科学研究機構 分子科学研究所、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員）

Organizer: Shuji Akiyama (Institute for Molecular Science, NINS; Program Officer, Research Center for Science Systems, JSPS)

日 時：11月16日（木）11:50～12:50

会 場：2号館3階H会場

形 式：プレゼンテーション

※このイベントは日本語で開催します。

* This event will be presented in Japanese language.

概 要：今、日本が将来にわたって卓越した研究成果を持続的に生み出し続け、世界の中で存在感を保持できるかが問われています。こうした中、科学技術・学術審議会において、学術研究への現代的要請として、「挑戦性・総合性・融合性・国際性」の四つを挙げ、科研費制度の抜本的改革が提言されました。これを踏まえ、文部科学省では「科研費改革の実施方針」を策定し、科研費の研究種目・枠組みの見直しや審査システムの見直し（「審査システム改革2018」）が行われ、平成30年度科研費（平成29年9月公募）において、新たな審査システムによる審査を実施しました。今回は、科研費制度の最近の主な変更点を中心に、制度の改善や充実を図った点等について、ご説明をいただきます。